

通常総会、第1例会報告

■ 第41回通常総会が開催されました

去る5月22日にTKP東京駅八重洲カンファレンスセンターにおきまして、(一社)日本自動車旅行ホテル協会、第41回通常総会が開催され、昨年の活動報告、決算報告、本年度の事業方針、事業予算など、上程されたすべての議案が無事了承されました。

冒頭、あいさつされた當麻会長は、本年度から運用が始まったNHKの業務委託契約に触れ、NHKの担当者との会談の中で、今後レジャーホテル業界向けの業務委託契約は他団体とは結ばないとNHK側が明言されたことを紹介され、大きな成果だったとして、今後業界の代表として活動を一層活発化していくことを決意されておりました。

昨年度の決算報告では、協会事務局の移転費用、本間前事務局長の退職金など、特別費用が発生したため、昨年度は約400万円の収支赤字となったことが報告されましたが、新年度の予算見込みでは、約220万円の黒字収支となることを想定しており、会員の皆様よりご承認をいただきました。詳しくは総会資料をご参照ください。

■ 平成26年度第1例会が開催されました

通常総会に続いて、當麻会長以下、本部理事の皆様も参加していただき第1例会が開催されました。今回の例会は、一般社団法人 H. Y. L Academy の高野悠純様をお招きして「人には言えない経営者の悩み相談室 (悩みの原因分析とストレス減少法)」と題してご講演をいただきました。セミナーに先立ってあいさつをした清水ブロック長は、「今回は、経営とか研修とか、そういう切り口ではなく、もしかしたら皆さんが日頃悩まれているかも知れない心のケアをテーマにしてみました」と趣旨を説明しました。講演は、初めに簡単な性格分析をするところからはじまり、人間は幼少期に母親から受ける心理的影響に非常に左右されるらしく、どうしたら母親から愛されるかを自然に学びながら性格を形成していくという解説してくれました。その記憶をずっと心の奥底に持っていて、外



部のことを理解するときに自分の考えが正しいかどうかの証拠集めを常にしているということでした。

ストレスの話では、ストレスは、「要求」×「見通し」×「支援」によって大きさが決まってくるそうです。要求とは、(～したい、～すべき、～しなきゃ)、見通しとは、(期限、難易度、可能性)、支援とは、(報酬、援助)などを指し、これらがそれぞれ大きいとストレスはそれだけ大きく乗じてしまうそうです。そのストレスを減少させるためには、状況は変わらないわけだから、まず状況を受け入れて、状況を分析してそれを軽減させてあげるよう自分に働きかけるようにすると、ストレスが軽くなるということでした。具体的な例示などもありましたが会報ではとてもそこまでご紹介できません。結論的には、己を知り、認め、ありのままの己を受け入れていくことが大事で、感情を無理に抑え込むのではなくストレスを受け入れて楽しむように持っていくのがコツということでした。今回のセミナーは、ちょっと専門的だったかもしれません。

セミナー後、開催された懇親会では、乾杯のあいさつを本部理事で沖縄県支部長の仲村さんをお願いし、仲村さんの「かりー」という沖縄式乾杯発声で幕を開けました。講演をいただいた高野先生も同席の中、居酒屋料理を囲みながらあつという間の2時間となりました。

